

## (2) インフルエンザ様疾患発生報告(学級閉鎖等)

### 第1 目的

学校におけるインフルエンザの流行状況を把握するため、インフルエンザ様症状の患者の発生による管内の幼稚園、保育所、小学校、中学校、高等学校の休校数等を把握する。

### 第2 実施の概要

1 保健所は、管内の幼稚園、保育所、小学校、中学校、高等学校と連携し、インフルエンザ様症状の患者による臨時休業（学級閉鎖、学年閉鎖、休校）の状況及び欠席者数を把握する。

2 保健所は、1で入手した情報を、1週間分（日曜日から土曜日まで）集計し、翌週月曜（休日の場合はその翌営業日）までに、都道府県、保健所設置市又は特別区（以下「都道府県等」という。）の本庁に報告する。

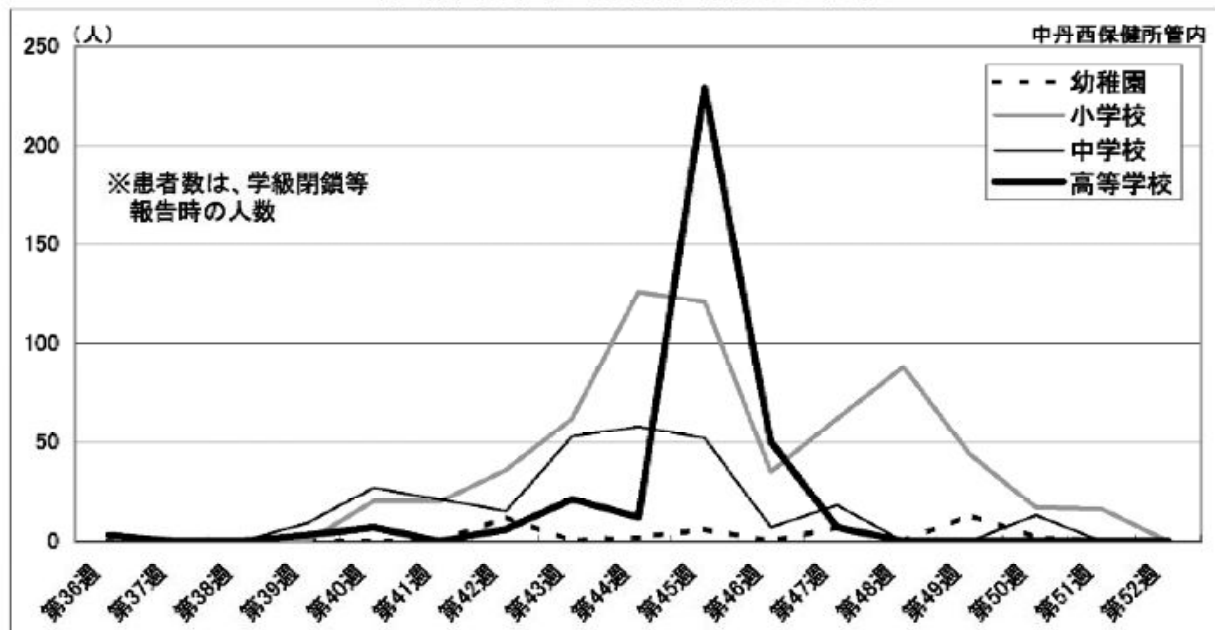
#### (参照)

- ・昭和48年9月20日衛情第102号「インフルエンザの防疫対策について」
- ・平成21年5月22日健感発第0522003号厚生労働省健康局結核感染症課長通知「インフルエンザ施設別発生状況に係る調査について」

### 福知山市立幼稚園・小・中学校の学級閉鎖等基準

| 区分   | 発生当初の基準  | 新基準(平成21年11月16日～)   |
|------|--|---|
| 学級閉鎖 | ・学級において新型インフルエンザ様症状が7日以内に2人目が発生した場合とする。(期間は発症日から7日間とする。) | ・1クラスの人数割合15%欠席を基準とする。<br>【発症後の登校】<br>・発症した日から7日間は登校しない。<br>・発症6日目以降の解熱の場合は、解熱後2日過ぎた日から登校可能 |
| 学年閉鎖 | ・学年において、2クラス以上学級閉鎖をした場合とする。(期間は最終発生クラスから7日間とする。)         | ・学年閉鎖、学校閉鎖等については、校長が学校医等に指導を仰ぎながら、また、教育委員会と協議し決定する。   |
| 休校   | ・校長が保健所、学校医等に指導を仰ぎながら、また教育委員会と協議し決定をする。                  |   |

### 年代別のインフルエンザ流行経過(平成21年9月～12月) (学級閉鎖・学年閉鎖・休校)患者数



## インフルエンザ施設別発生状況

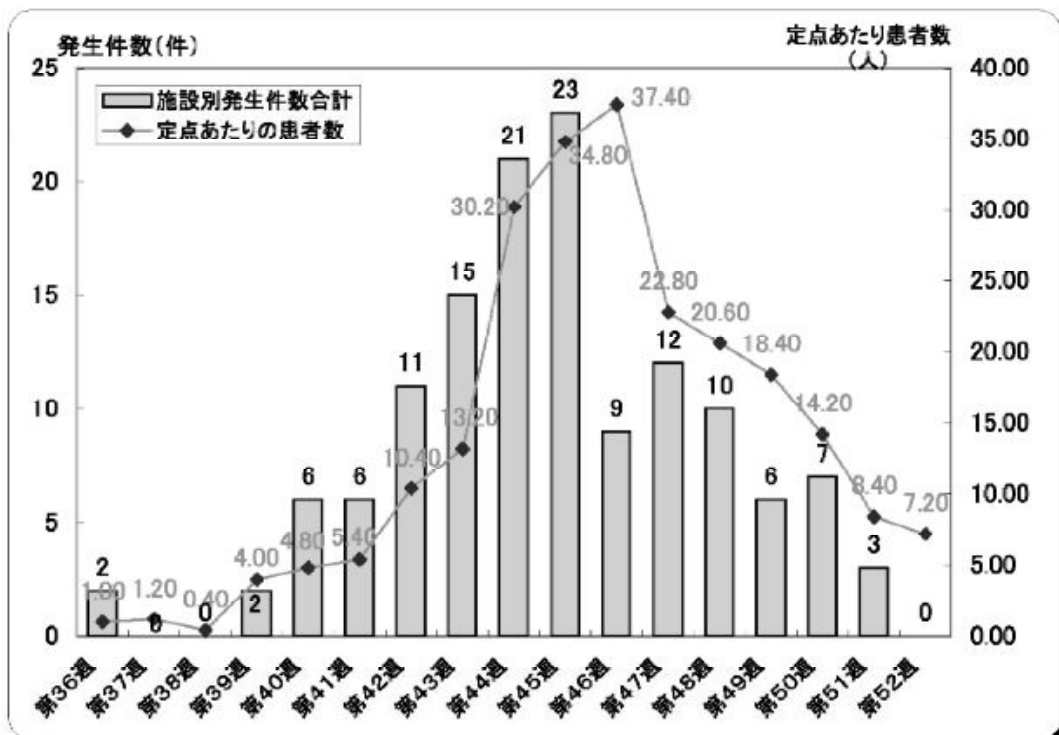
(学級閉鎖・学年閉鎖・休校)発生数 中丹西保健所管内

| 週    | 期間            | 区分  |     |     |      |     | 計   |
|------|---------------|-----|-----|-----|------|-----|-----|
|      |               | 幼稚園 | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | その他 |     |
| 第36週 | 9月6日～9月12日    |     | 1   |     | 1    |     | 2   |
| 第37週 | 9月13日～9月19日   |     |     |     |      |     | 0   |
| 第38週 | 9月20日～9月26日   |     |     |     |      |     | 0   |
| 第39週 | 9月27日～10月3日   |     |     | 1   | 1    |     | 2   |
| 第40週 | 10月4日～10月10日  |     | 2   | 3   | 1    |     | 6   |
| 第41週 | 10月11日～10月17日 |     | 3   | 3   |      |     | 6   |
| 第42週 | 10月18日～10月24日 | 2   | 5   | 2   | 1    | 1   | 11  |
| 第43週 | 10月25日～10月31日 |     | 8   | 3   | 4    |     | 15  |
| 第44週 | 11月1日～11月7日   | 1   | 11  | 6   | 3    |     | 21  |
| 第45週 | 11月8日～11月14日  | 3   | 11  | 3   | 6    |     | 23  |
| 第46週 | 11月15日～11月21日 |     | 5   | 1   | 3    |     | 9   |
| 第47週 | 11月22日～11月28日 | 1   | 8   | 2   | 1    |     | 12  |
| 第48週 | 11月29日～12月5日  |     | 9   |     |      | 1   | 10  |
| 第49週 | 12月6日～12月12日  | 1   | 5   |     |      |     | 6   |
| 第50週 | 12月13日～12月19日 | 1   | 5   | 1   |      |     | 7   |
| 第51週 | 12月20日～12月26日 |     | 3   |     |      |     | 3   |
| 第52週 | 12月27日～1月2日   |     |     |     |      |     | 0   |
|      | 計             | 9   | 76  | 25  | 21   | 2   | 133 |

※学校内での複数発生も「1」とカウントする。また、保育所からの報告はなかった。

定点あたりの患者数は流行期に入った42週から4週目にピークとなり、50週の警戒終息まで9週間続いた。42週は閉鎖施設も11となり、幼稚園から高等学校まですべての年代で閉鎖が報告されていた。インフルエンザサーベイランス定点の患者発生数と学級閉鎖など施設閉鎖件数をみると、患者数は46週がピークで37.40であった。また、施設閉鎖数は45週がピークで23施設あった。1週間のずれがあるのは、1週間のずれがあるのは、それぞれの報告期間が異なるためで、ピークは同時期であった。

## インフルエンザ施設別発生件数と定点あたりの患者数



中丹西保健所管内

## インフルエンザ施設別発生状況

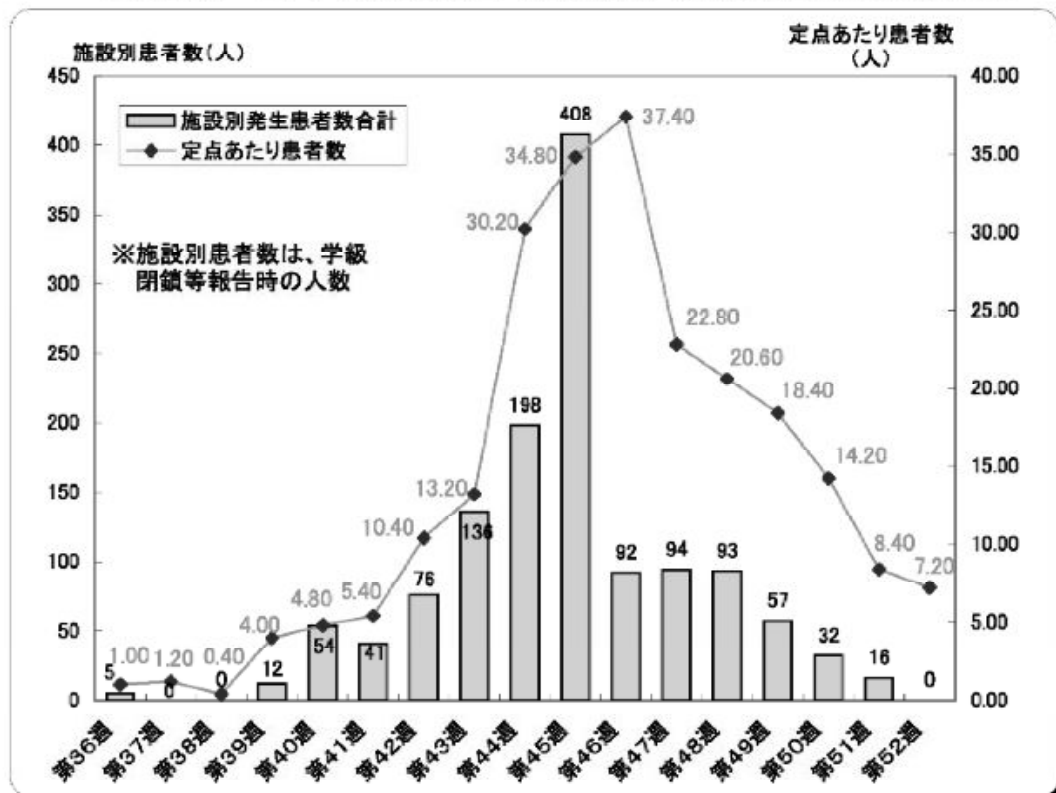
(学級閉鎖・学年閉鎖・休校)患者数 中丹西保健所管内

| 週    | 期間            | 区分  |     |     |      |     | 計    |
|------|---------------|-----|-----|-----|------|-----|------|
|      |               | 幼稚園 | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | その他 |      |
| 第36週 | 9月6日～9月12日    |     | 2   |     | 3    |     | 5    |
| 第37週 | 9月13日～9月19日   |     |     |     |      |     | 0    |
| 第38週 | 9月20日～9月26日   |     |     |     |      |     | 0    |
| 第39週 | 9月27日～10月3日   |     |     | 9   | 3    |     | 12   |
| 第40週 | 10月4日～10月10日  |     | 20  | 27  | 7    |     | 54   |
| 第41週 | 10月11日～10月17日 |     | 20  | 21  |      |     | 41   |
| 第42週 | 10月18日～10月24日 | 12  | 36  | 15  | 6    | 7   | 76   |
| 第43週 | 10月25日～10月31日 |     | 62  | 53  | 21   |     | 136  |
| 第44週 | 11月1日～11月7日   | 2   | 126 | 58  | 12   |     | 198  |
| 第45週 | 11月8日～11月14日  | 6   | 121 | 52  | 229  |     | 408  |
| 第46週 | 11月15日～11月21日 |     | 35  | 7   | 50   |     | 92   |
| 第47週 | 11月22日～11月28日 | 7   | 62  | 18  | 7    |     | 94   |
| 第48週 | 11月29日～12月5日  |     | 88  |     |      | 5   | 93   |
| 第49週 | 12月6日～12月12日  | 13  | 44  |     |      |     | 57   |
| 第50週 | 12月13日～12月19日 | 2   | 17  | 13  |      |     | 32   |
| 第51週 | 12月20日～12月26日 |     | 16  |     |      |     | 16   |
| 第52週 | 12月27日～1月2日   |     |     |     |      |     | 0    |
|      | 計             | 42  | 649 | 273 | 338  | 12  | 1314 |

※患者数は学級閉鎖等報告時の人数である。保育所からの報告はなかった。

インフルエンザサーベイランスの定点患者数と施設閉鎖の患者数をみると学級閉鎖基準が変更になった11月16日(46週)からは施設閉鎖患者数は激減していた。中学校、高等学校の閉鎖は9月下旬から始まり11月下旬には終息したが、小学校では10月上旬から12月下旬まで閉鎖が続いていた。

## インフルエンザ施設別発生患者数と定点あたりの患者数



中丹西保健所管内

### (3) ウイルスサーベイランス

#### 第1 目的

流行している新型インフルエンザウイルスの抗原性、抗インフルエンザウイルス薬への感受性等を調べ、病原性の変化の把握や診断・治療方針の見直し等に役立てる。

また、インフルエンザウイルスの型・亜型（A型、H1、H3、新型H1、B型）を調べることにより、流行しているインフルエンザ全体における新型インフルエンザ（A/H1N1）の割合を評価する。

#### 第2 実施の概要

- 1 都道府県、保健所設置市又は特別区（以下「都道府県等」という。）は、所管している地方衛生研究所と協議を行い、本サーベイランスにおいて検査を行う検体数の上限をあらかじめ定めておくこととする。
- 2 病原体定点医療機関は、定点医療機関あたりのインフルエンザの患者の報告数があらかじめ定めた検体数の上限に達するまで、インフルエンザ定点医療機関として、保健所に報告する全てのインフルエンザの患者及び新型インフルエンザ（A/H1N1）の患者について、検体を採取する。
- 3 病原体定点医療機関は、定点医療機関あたりの季節性インフルエンザの患者の報告数があらかじめ定めた検体数の上限を超えるようになった場合、インフルエンザ定点医療機関として保健所に報告するインフルエンザの患者及び新型インフルエンザ（A/H1N1）の患者の一部に限り、状況に応じて、検体を採取する。この際、年齢区分等に応じ、バランスのとれたサンプリングを行うよう留意しつつ、各地方衛生研究所であらかじめ取り決めた計画に基づき、実施することとする。
- 4 保健所は、2、3で採取された検体を入手し、地方衛生研究所に送付する。
- 5 地方衛生研究所は、病原体定点医療機関から送付されたすべての検体について、確認検査を行う。  
ここでいう確認検査とは、ウイルスの分離・同定又はPCR検査をいうものとし、都道府県等と地方衛生研究所との間であらかじめ協議し、両者のバランスに配慮して実施する。特に、一定数は、ウイルスの分離・同定を行うことに努めることとし、PCR検査については、クラスターサーベイランスやインフルエンザ入院サーベイランス等における診断のためのPCR検査の実施状況をも勘案しつつ実施する。なお、新型インフルエンザ（A/H1N1）を含めた標準抗血清及び標準抗原が配布されるまでの時期においては、ウイルスの分離・同定を行い、赤血球凝集抑制（HI）試験の結果が、A（+）、H1（-）、H3（-）、B（-）となった場合には、新型インフルエンザ（A/H1N1）ウイルスである可能性が高いとみなし、「A not subtyped」とする。この場合、PCR検査により新型インフルエンザ（A/H1N1）であることを確認する。
- 6 都道府県等は、地方衛生研究所と連携し、検査に係る情報を把握する。また、ウイルスの分離・同定とPCR検査の結果が重複して計上されないように注意する。

（参照）平成11年健医発第458号厚生省保健医療局長通知「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の施行に伴う感染症発生動向調査業の実施について」

#### ■ 中丹西保健所管内の実施状況

検査機関：京都府保健環境研究所

○実施人数：10人（平成22年2月末時点）

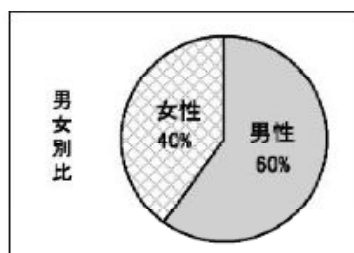
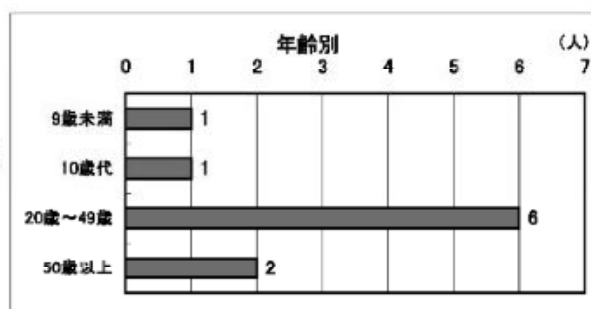
○実施結果：8人から新型インフルエンザ検出  
2人は検査中

○年齢別

|         |    |
|---------|----|
| 9歳未満    | 1人 |
| 10歳代    | 1人 |
| 20歳～49歳 | 6人 |
| 50歳以上   | 2人 |

○男女別

|    |    |
|----|----|
| 男性 | 6人 |
| 女性 | 4人 |



## (4) インフルエンザ入院サーベイランス

### 第1 目的

新型インフルエンザ(A/H1N1)と診断された入院患者の数及びその臨床情報を把握することにより、当該感染症による重症者の発生動向や病原性の変化等について推察、把握する材料とする。

### 第2 実施の概要

- すべての入院医療機関において、医師は、インフルエンザ様症状を呈する患者であって入院を要するものを確認した場合(ただし、インフルエンザ迅速診断キットB型陽性である場合等、新型インフルエンザ(A/H1N1)であることが除外される場合を除く。)、所管の保健所に対し連絡を行う。また、当該医療機関においては、極力、患者の検体を採取しておくこととする。
- 当該連絡を受けた保健所は、患者の検体を入手し、地方衛生研究所に対してPCR検査を行うよう依頼する。
- PCR検査が陽性だった場合、保健所は、患者の入院する医療機関に連絡し、患者の臨床情報を入手するとともに、速やかに都道府県、保健所設置市及び特別区(以下「都道府県等」という。)の本庁に報告する。
- また、保健所は、患者の入院する医療機関と連携し、患者の臨床情報を、週に一度、原則として報告日の前日に更新するものとし、更新した最新の情報を火曜日(休日の場合はその翌営業日)までに、都道府県等の本庁に報告する。

### ■入院患者の概況(全国)(データ:厚生労働省資料)

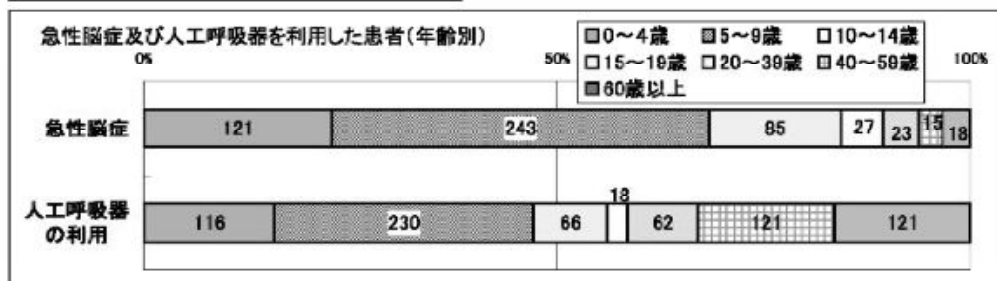
●入院患者数(平成22年2月23日時点) 17,481人

#### ●年齢別

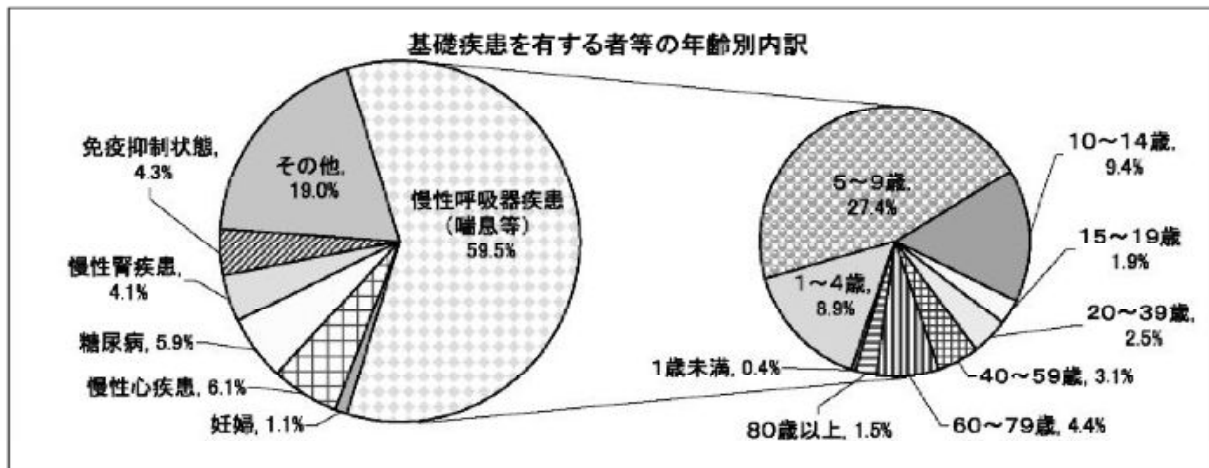
| 年齢      | ①入院者数  | ②基礎疾患有り(再掲) |         | ③急性脳症罹患患者(再掲) |         |                | ④人工呼吸器使用(再掲) |         |             |
|---------|--------|-------------|---------|---------------|---------|----------------|--------------|---------|-------------|
|         |        | 人数          | ①に占める割合 | 人数            | ①に占める割合 | 脳症罹患患者全体に占める割合 | 人数           | ①に占める割合 | 使用者全体に占める割合 |
| 1歳未満    | 802    | 71          | 8.9%    | 9             | 1.1%    | 1.7%           | 16           | 2.0%    | 2.2%        |
| 1～4歳    | 3,531  | 825         | 23.4%   | 112           | 3.2%    | 21.1%          | 100          | 2.8%    | 13.6%       |
| 5～9歳    | 7,002  | 2,322       | 33.2%   | 243           | 3.5%    | 45.7%          | 230          | 3.3%    | 31.3%       |
| 10～14歳  | 2,535  | 904         | 35.7%   | 85            | 3.4%    | 16.0%          | 66           | 2.6%    | 9.0%        |
| 15～19歳  | 552    | 226         | 40.9%   | 27            | 4.9%    | 5.1%           | 18           | 3.3%    | 2.5%        |
| 20～39歳  | 845    | 455         | 53.8%   | 23            | 2.7%    | 4.3%           | 62           | 7.3%    | 8.4%        |
| 40歳～59歳 | 875    | 636         | 72.7%   | 15            | 1.7%    | 2.8%           | 121          | 13.8%   | 16.5%       |
| 60歳～79歳 | 954    | 783         | 82.1%   | 15            | 1.6%    | 2.8%           | 97           | 10.2%   | 13.2%       |
| 80歳以上   | 385    | 306         | 79.5%   | 3             | 0.8%    | 0.6%           | 24           | 6.2%    | 3.3%        |
| 合計      | 17,481 | 6,528       | 37.3%   | 532           | 3.0%    | 100.0%         | 734          | 4.2%    | 100.0%      |

#### ●男女別

| 性別 | 人数     | %      |
|----|--------|--------|
| 男性 | 10,978 | 62.8%  |
| 女性 | 6,503  | 37.2%  |
| 合計 | 17,481 | 100.0% |



- 入院者数を年齢別にみると、5～9歳の小児が最も多く(全入院者数の40.1%)、1～4歳(同20.2%)、10～14歳(同14.5%)が次いだ。男女比は1.7:1と男性が多かった。
- 年齢別に、入院者数に占める基礎疾患有りの割合をみると、年齢があがるほど高率となり、最も高かったのは60～79歳の82.1%であった。
- 急性脳症罹患患者は全入院者の3.0%を占め、年齢別にみると5～9歳の小児が最も多く(全罹患患者の45.7%)、9歳までの小児の罹患患者で全体の68.5%を占めたが、それ以降の年代での罹患も多いのが特徴的であった。
- 人工呼吸器使用者は全入院患者の4.2%を占め、小児期と40歳以上に多かった。

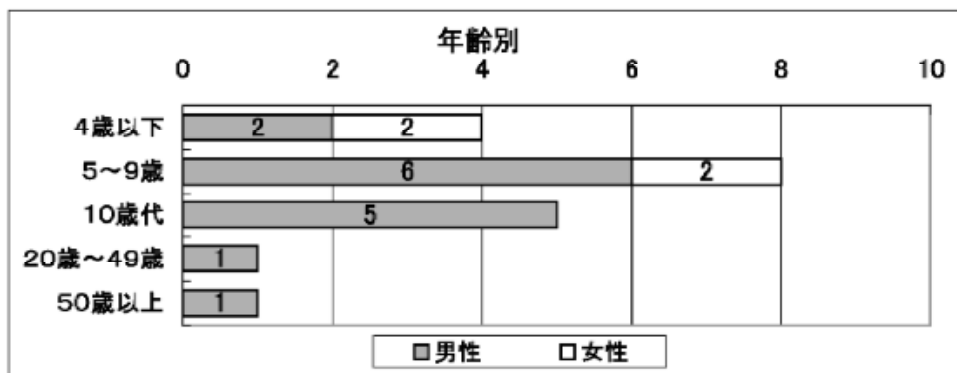


・基礎疾患を有する者の内訳をみると、慢性呼吸器疾患が59.5%と最も多く、その年齢別内訳をみると小児の占める割合が高率であった。

■中丹西保健所管内の入院サーベイランス実施状況(平成22年2月末時点)

検査機関 : 京都府中丹西保健所  
 ○実施人数 : 19人  
 ○実施結果 : 18人から新型インフルエンザ検出

|         | 男性 | 女性 | 合計 | %      |
|---------|----|----|----|--------|
| 4歳以下    | 2  | 2  | 4  | 21.1%  |
| 5~9歳    | 6  | 2  | 8  | 42.1%  |
| 10歳代    | 5  |    | 5  | 26.3%  |
| 20歳~49歳 | 1  |    | 1  | 5.3%   |
| 50歳以上   | 1  |    | 1  | 5.3%   |
| 合計      | 15 | 4  | 19 | 100.0% |



・中丹西保健所管内で入院サーベイランスを実施したのは19人あり、性差をみると男性が女性の約4倍を占めた。  
 ・年齢別にみると5~9歳が全体の42.1%を占め最も多く、全国の傾向と同様であった。

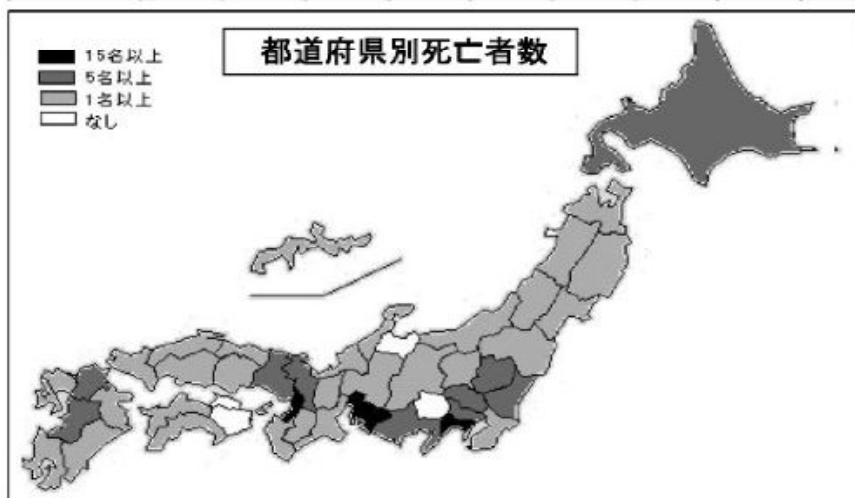
■死亡者の概況（平成22年2月末時点）

- ・全死亡者195人中基礎疾患の有する者は137人で、その割合は70.3%と高率であった。
- ・死亡者の年齢をみると、70歳以上45人(23.1%)、9歳以下の小児32人(16.4%)、40～49歳及び50～59歳それぞれ31人(15.9%)の順に多かった。
- ・死亡者の男女比は1.6:1と入院した者の男女比と同様であった。

①全国(データ:厚生労働省資料)

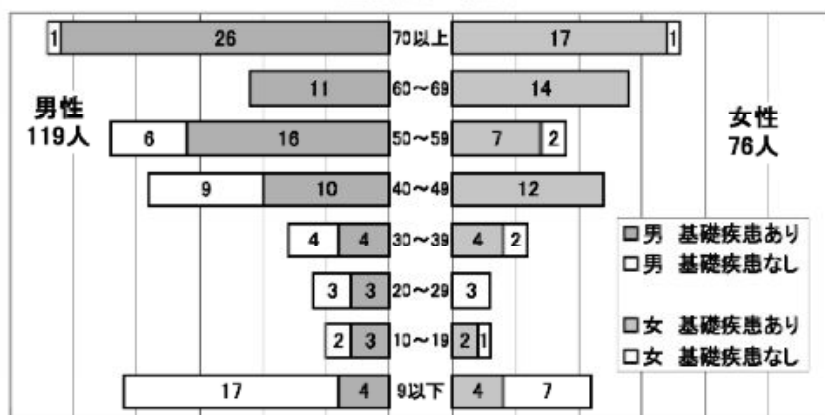
死亡者の年齢別内訳（累計195人）

|                        | 1歳未満       | 1～4歳        | 5～9歳        | 10～14歳     | 15～19歳     | 20～29歳     | 30～39歳      | 40～49歳      | 50～59歳      | 60～69歳      | 70～79歳      | 80歳以上       | 計             |
|------------------------|------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------------|
| 死亡者<br>(うち入院外患者)       | 3人<br>(1人) | 17人<br>(5人) | 12人<br>(3人) | 5人<br>(1人) | 3人<br>(1人) | 9人<br>(4人) | 14人<br>(3人) | 31人<br>(4人) | 31人<br>(4人) | 25人<br>(0人) | 23人<br>(0人) | 22人<br>(1人) | 195人<br>(27人) |
| 基礎疾患を有する者<br>(うち入院外患者) | 1人<br>(0人) | 3人<br>(0人)  | 4人<br>(1人)  | 4人<br>(1人) | 1人<br>(0人) | 3人<br>(1人) | 8人<br>(2人)  | 22人<br>(3人) | 23人<br>(2人) | 25人<br>(0人) | 21人<br>(0人) | 22人<br>(1人) | 137人<br>(11人) |



| 地域   | 都道府県名 | 死亡者数 |   |
|------|-------|------|---|
| 北海道  | 北海道   | 6    |   |
|      | 青森県   | 3    |   |
| 東北   | 秋田県   | 2    |   |
|      | 岩手県   | 1    |   |
|      | 宮城県   | 3    |   |
|      | 山形県   | 1    |   |
|      | 福島県   | 3    |   |
| 首都圏  | 茨城県   | 5    |   |
|      | 栃木県   | 6    |   |
|      | 群馬県   | 3    |   |
|      | 埼玉県   | 9    |   |
|      | 千葉県   | 3    |   |
|      | 東京都   | 10   |   |
|      | 神奈川県  | 16   |   |
|      | 山梨県   | 0    |   |
|      | 北信越   | 新潟県  | 4 |
|      |       | 富山県  | 0 |
| 長野県  |       | 4    |   |
| 石川県  |       | 1    |   |
| 東海   | 福井県   | 2    |   |
|      | 岐阜県   | 1    |   |
|      | 静岡県   | 6    |   |
| 近畿   | 愛知県   | 16   |   |
|      | 三重県   | 1    |   |
|      | 滋賀県   | 1    |   |
|      | 京都府   | 11   |   |
|      | 大阪府   | 16   |   |
| 中国   | 兵庫県   | 14   |   |
|      | 奈良県   | 4    |   |
|      | 和歌山県  | 1    |   |
|      | 鳥取県   | 1    |   |
|      | 島根県   | 2    |   |
| 四国   | 岡山県   | 1    |   |
|      | 広島県   | 3    |   |
|      | 山口県   | 4    |   |
|      | 徳島県   | 0    |   |
| 九州   | 香川県   | 0    |   |
|      | 愛媛県   | 2    |   |
|      | 高知県   | 2    |   |
|      | 福岡県   | 7    |   |
|      | 佐賀県   | 1    |   |
|      | 長崎県   | 2    |   |
|      | 熊本県   | 5    |   |
| 沖縄   | 大分県   | 2    |   |
|      | 宮崎県   | 4    |   |
| 鹿児島県 | 3     |      |   |
| 沖縄   | 沖縄県   | 3    |   |
| 合計   |       | 195  |   |

◆国内死亡数 性・年齢別◆  
(基礎疾患の有無)



②京都府の死亡者

|    | 死亡日    | 市区町村 | 年齢    | 性別 | 基礎疾患 |
|----|--------|------|-------|----|------|
| 1  | 9月2日   | 木津川市 | 60代   | 男性 | 有    |
| 2  | 11月1日  | 京都市  | 30代   | 女性 | 不明   |
| 3  | 11月8日  | 京都市  | 1歳8ヶ月 | 男児 | 無    |
| 4  | 11月19日 | 京丹後市 | 40代   | 女性 | 有    |
| 5  | 12月1日  | 精華町  | 60代   | 女性 | 有    |
| 6  | 12月2日  | 木津川市 | 10歳未満 | 男児 | 無    |
| 7  | 12月5日  | 京都市  | 74歳   | 男性 | 有    |
| 8  | 12月19日 | 舞鶴市  | 50代   | 男性 | 有    |
| 9  | 12月18日 | 左京区  | 82歳   | 男性 | 有    |
| 10 | 1月16日  | 京都市  | 20歳   | 男性 | 無    |
| 11 | 1月16日  | 城陽市  | 50代   | 女性 | 有    |

## (5) インフルエンザサーベイランス(感染症発生動向調査)

### 第1 目的

インフルエンザ定点医療機関におけるインフルエンザの患者を把握することにより、インフルエンザ全体の発生動向を把握する。

### 第2 実施方法

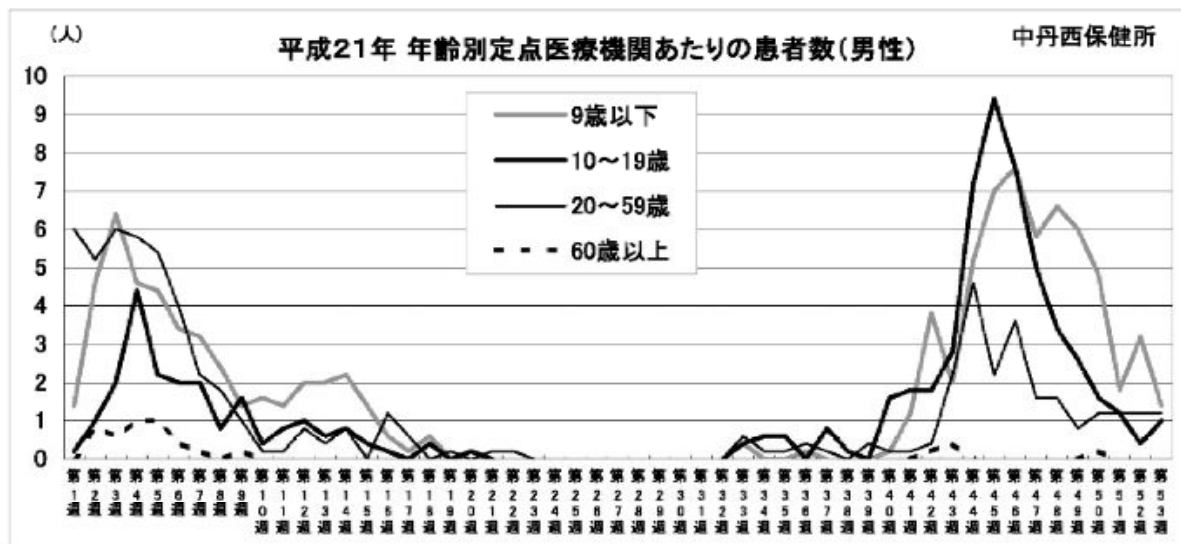
1 インフルエンザ定点医療機関は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

(平成 10 年法律第 114 号。以下「法」という。) 第 14 条の規定に基づき、インフルエンザと診断した患者について、1 週間(月曜日から日曜日)ごとに、保健所に報告する。

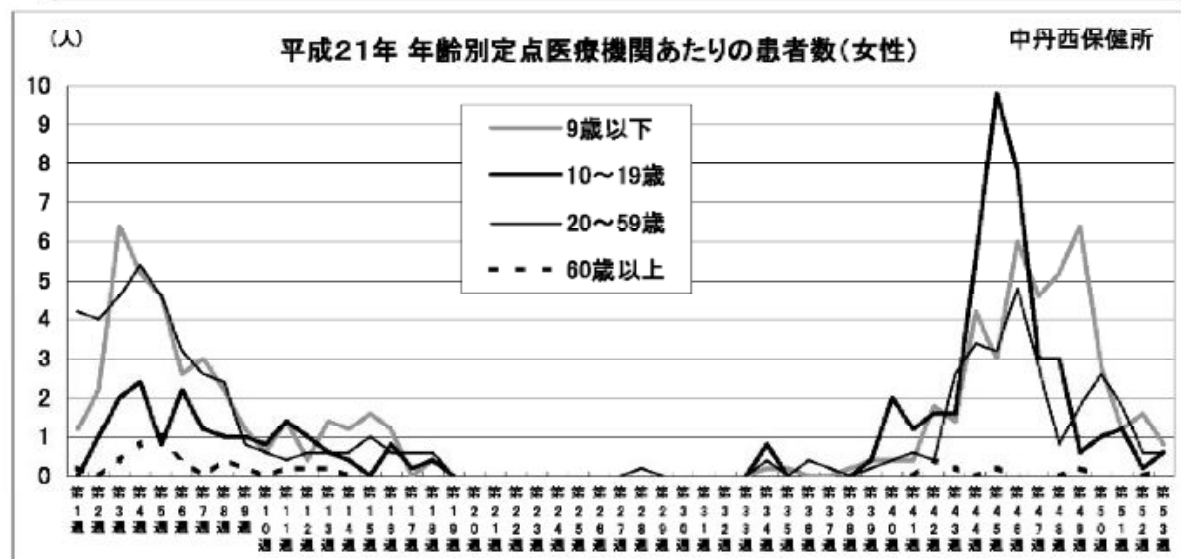
(参照)

平成 11 年健医発第 458 号厚生省保健医療局長通知「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の施行に伴う感染症発生動向調査業の実施について」

2 新型インフルエンザ(A/H1N1)と診断された患者(疑似症患者を含む。)に係る情報については、法第 14 条の規定に基づく届出と同様の様式、方法にて、保健所に報告を行うものとする。



インフルエンザサーベイランスの定点患者数をみると、男女とも10歳代が45週でピークをむかえていた。9歳以下の流行は、50週頃(12月)まで続いていた。1週以降に流行した季節性インフルエンザに比べ、秋以降に流行した新型インフルエンザでは、60歳以上の患者がほとんどみられなかった。

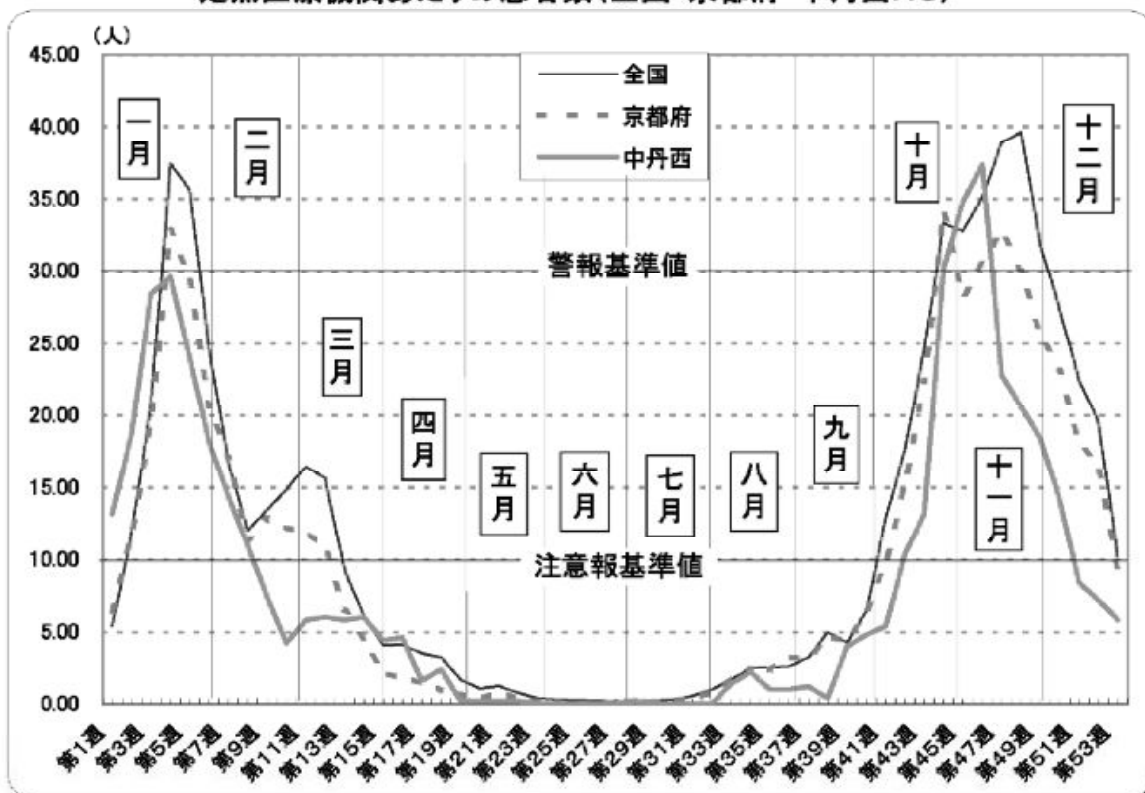




平成21年 インフルエンザサーベイランス（感染症発生動向調査）  
 定点医療機関あたりの患者数

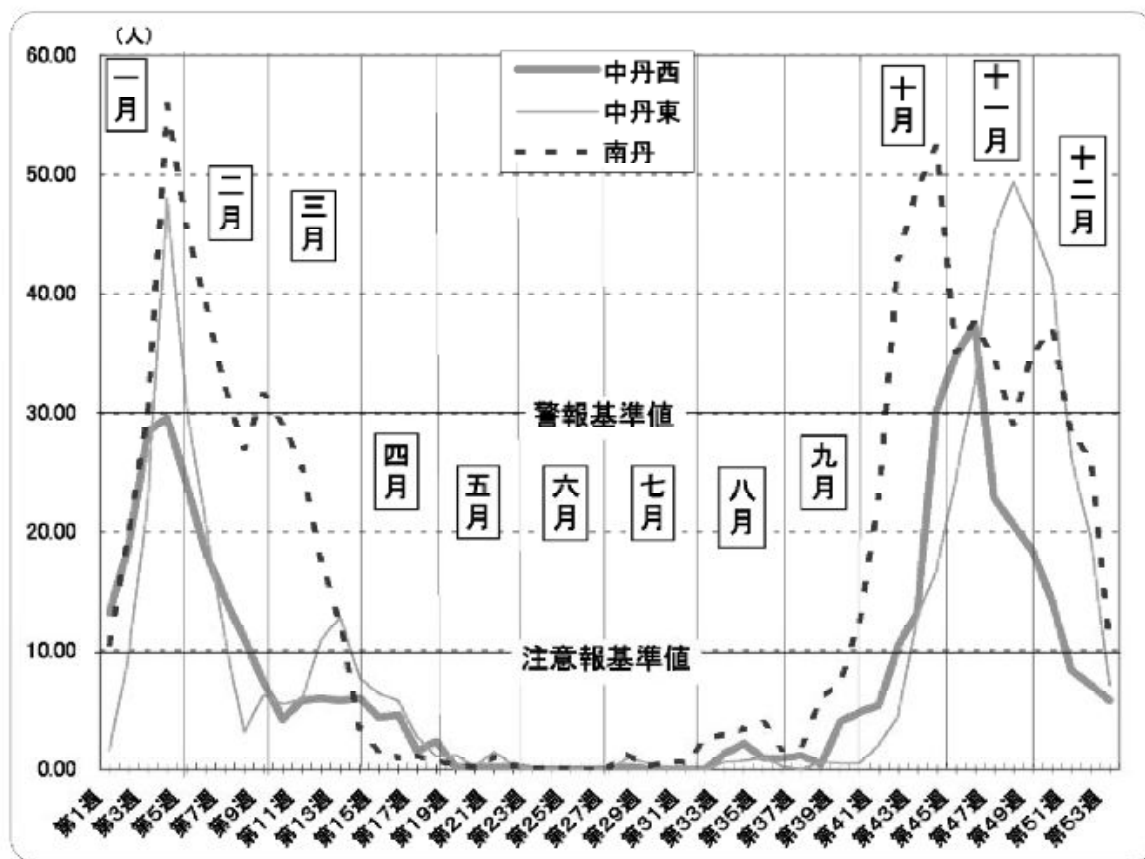
| 週    | 調査期間          | 全国    | 京都府   | 中丹西HC | 中丹東HC | 南丹HC  |
|------|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 第1週  | 12月29日～1月4日   | 5.36  | 6.43  | 13.20 | 1.63  | 10.56 |
| 第2週  | 1月5日～1月11日    | 11.94 | 11.75 | 18.80 | 9.63  | 20.00 |
| 第3週  | 1月12日～1月18日   | 20.84 | 19.50 | 28.40 | 22.63 | 30.00 |
| 第4週  | 1月19日～1月25日   | 37.45 | 32.87 | 29.60 | 48.00 | 55.78 |
| 第5週  | 1月26日～2月1日    | 35.62 | 29.45 | 24.00 | 30.50 | 45.56 |
| 第6週  | 2月2日～2月8日     | 24.69 | 20.66 | 18.20 | 20.60 | 39.00 |
| 第7週  | 2月9日～2月15日    | 16.75 | 17.13 | 14.40 | 11.00 | 32.00 |
| 第8週  | 2月16日～2月22日   | 12.05 | 11.43 | 11.00 | 3.13  | 27.00 |
| 第9週  | 2月23日～3月1日    | 13.49 | 12.87 | 7.40  | 6.25  | 31.44 |
| 第10週 | 3月2日～3月8日     | 14.85 | 12.24 | 4.20  | 5.50  | 29.22 |
| 第11週 | 3月9日～3月15日    | 16.50 | 12.00 | 5.80  | 5.88  | 25.44 |
| 第12週 | 3月16日～3月22日   | 15.63 | 10.94 | 6.00  | 10.88 | 17.67 |
| 第13週 | 3月23日～3月29日   | 9.36  | 6.50  | 5.80  | 12.80 | 12.30 |
| 第14週 | 3月30日～4月5日    | 6.11  | 4.58  | 6.00  | 7.75  | 3.44  |
| 第15週 | 4月6日～4月12日    | 4.06  | 2.13  | 4.40  | 6.38  | 1.67  |
| 第16週 | 4月13日～4月19日   | 4.10  | 1.83  | 4.60  | 5.75  | 1.00  |
| 第17週 | 4月20日～4月26日   | 3.51  | 1.43  | 1.60  | 2.75  | 1.22  |
| 第18週 | 4月27日～5月3日    | 3.23  | 0.93  | 2.40  | 1.13  | 0.67  |
| 第19週 | 5月4日～5月10日    | 1.68  | 0.67  | 0.20  | 1.25  | 0.44  |
| 第20週 | 5月11日～5月17日   | 1.06  | 0.33  | 0.20  | 0.25  | 0.11  |
| 第21週 | 5月18日～5月24日   | 1.25  | 0.80  | 0.20  | 1.50  | 1.11  |
| 第22週 | 5月25日～5月31日   | 0.75  | 0.34  | 0.20  | 0.38  | 0.33  |
| 第23週 | 6月1日～6月7日     | 0.41  | 0.18  | -     | -     | 0.11  |
| 第24週 | 6月8日～6月14日    | 0.29  | 0.11  | -     | -     | 0.11  |
| 第25週 | 6月15日～6月21日   | 0.24  | 0.03  | -     | -     | -     |
| 第26週 | 6月22日～6月28日   | 0.20  | 0.03  | -     | -     | -     |
| 第27週 | 6月29日～7月5日    | 0.16  | 0.05  | -     | -     | 0.11  |
| 第28週 | 7月6日～7月12日    | 0.21  | 0.23  | 0.20  | 1.00  | 1.33  |
| 第29週 | 7月13日～7月19日   | 0.22  | 0.10  | -     | 0.50  | 0.22  |
| 第30週 | 7月20日～7月26日   | 0.28  | 0.25  | -     | 0.13  | 0.67  |
| 第31週 | 7月27日～8月2日    | 0.56  | 0.40  | -     | 0.25  | 0.56  |
| 第32週 | 8月3日～8月9日     | 0.99  | 0.79  | -     | -     | 2.67  |
| 第33週 | 8月10日～8月16日   | 1.69  | 1.77  | 1.40  | 0.63  | 3.00  |
| 第34週 | 8月17日～8月23日   | 2.47  | 2.46  | 2.20  | 0.75  | 3.44  |
| 第35週 | 8月24日～8月30日   | 2.52  | 2.37  | 1.00  | 1.00  | 3.89  |
| 第36週 | 8月31日～9月6日    | 2.62  | 3.19  | 1.00  | 0.25  | 1.78  |
| 第37週 | 9月7日～9月13日    | 3.21  | 3.15  | 1.20  | -     | 2.11  |
| 第38週 | 9月14日～9月20日   | 4.95  | 4.65  | 0.40  | 0.63  | 5.89  |
| 第39週 | 9月21日～9月27日   | 4.25  | 4.34  | 4.00  | 0.50  | 7.44  |
| 第40週 | 9月28日～10月4日   | 6.40  | 6.44  | 4.80  | 0.50  | 12.44 |
| 第41週 | 10月5日～10月11日  | 12.92 | 9.81  | 5.40  | 2.13  | 22.89 |
| 第42週 | 10月12日～10月18日 | 17.65 | 15.23 | 10.40 | 4.50  | 42.89 |
| 第43週 | 10月19日～10月25日 | 24.62 | 22.40 | 13.20 | 12.88 | 48.89 |
| 第44週 | 10月26日～11月1日  | 33.28 | 34.15 | 30.20 | 16.75 | 52.33 |
| 第45週 | 11月2日～11月8日   | 32.76 | 28.20 | 34.80 | 24.38 | 35.22 |
| 第46週 | 11月9日～11月15日  | 35.15 | 30.54 | 37.40 | 32.50 | 37.56 |
| 第47週 | 11月16日～11月22日 | 38.89 | 32.78 | 22.80 | 45.13 | 34.44 |
| 第48週 | 11月23日～11月29日 | 39.63 | 30.02 | 20.60 | 49.38 | 29.11 |
| 第49週 | 11月30日～12月6日  | 31.82 | 25.59 | 18.40 | 45.75 | 35.11 |
| 第50週 | 12月7日～12月13日  | 27.39 | 23.15 | 14.20 | 41.38 | 37.00 |
| 第51週 | 12月14日～12月20日 | 22.44 | 18.11 | 8.40  | 26.25 | 28.33 |
| 第52週 | 12月21日～12月27日 | 19.63 | 16.47 | 7.20  | 19.63 | 26.22 |
| 第53週 | 12月28日～1月3日   | 10.22 | 9.31  | 5.80  | 7.13  | 10.78 |

平成21年 インフルエンザサーベイランス(感染症発生動向調査)  
 定点医療機関あたりの患者数(全国・京都府・中丹西HC)



インフルエンザサーベイランスの定点患者数を全国、京都府、中丹西で比較すると、1週以降に流行した季節性インフルエンザ、秋以降に流行した新型インフルエンザともに、流行状況はほぼ同じであった。中丹西、中丹東、南丹で比較すると、中丹西は患者数が少なく、流行期間も短かった。

平成21年 インフルエンザサーベイランス (感染症発生動向調査)  
 定点医療機関あたりの患者数(中丹西HC・中丹東HC・南丹HC)



インフルエンザサーベイランス定点医療機関あたりの患者数(5年間)  
中丹西保健所管内

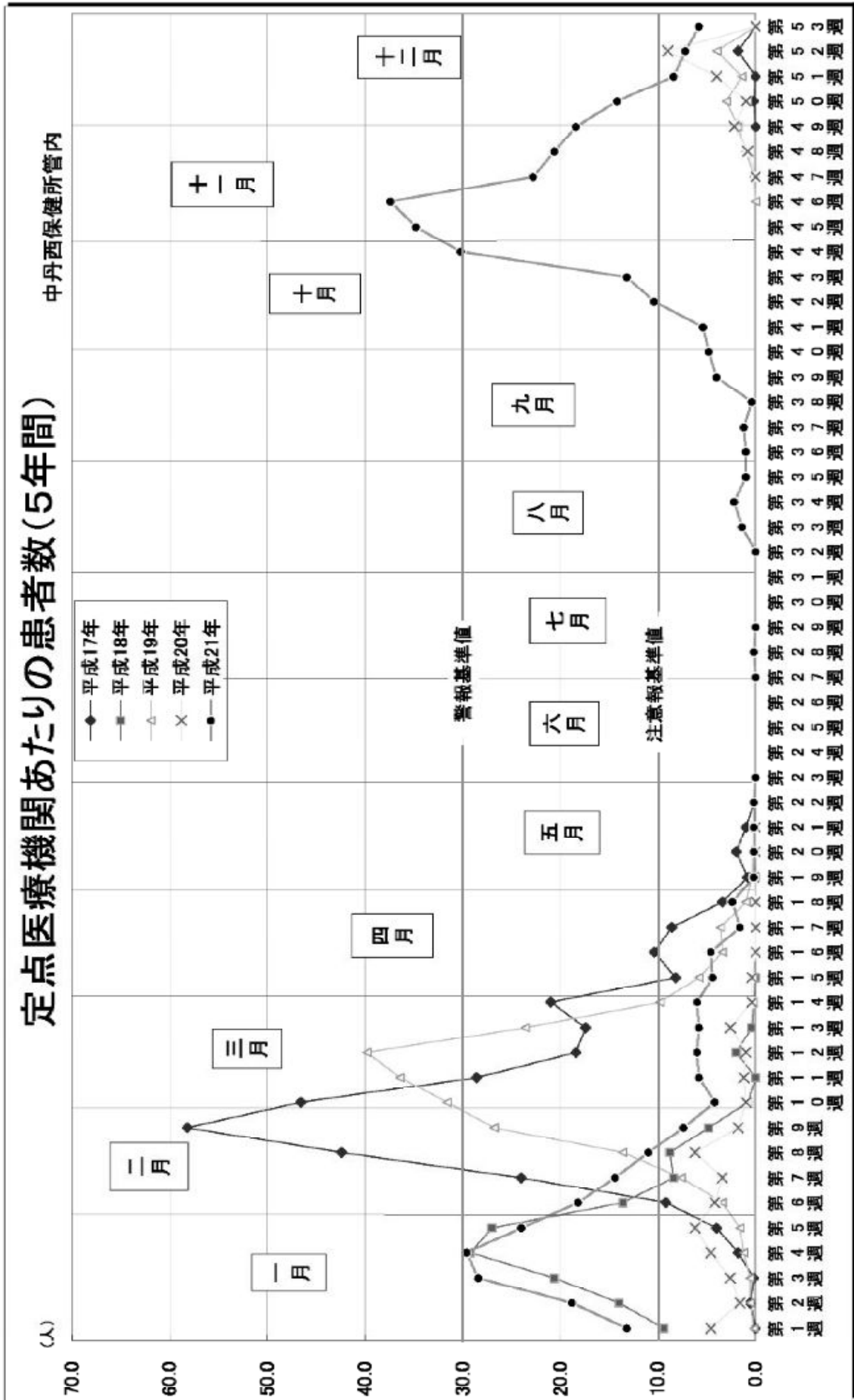
|       | 第1週  | 第2週  | 第3週  | 第4週  | 第5週  | 第6週  | 第7週  | 第8週  | 第9週  | 第10週 | 第11週 | 第12週 |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 平成17年 | -    | 0.6  | 0.2  | 1.8  | 4.0  | 9.2  | 24.0 | 42.4 | 58.2 | 46.6 | 28.6 | 18.4 |
| 平成18年 | 9.4  | 14.0 | 20.6 | 29.2 | 27.0 | 13.6 | 8.4  | 8.8  | 4.8  | 0.8  | -    | 2.0  |
| 平成19年 | 0.2  | 0.6  | 0.6  | 1.2  | 1.6  | 3.4  | 7.6  | 13.6 | 26.8 | 31.6 | 36.4 | 39.8 |
| 平成20年 | 4.6  | 1.6  | 2.6  | 4.6  | 6.2  | 4.2  | 3.4  | 6.2  | 1.8  | 1.0  | 1.2  | 1.0  |
| 平成21年 | 13.2 | 18.8 | 28.4 | 29.6 | 24.0 | 18.2 | 14.4 | 11.0 | 7.4  | 4.2  | 5.8  | 6.0  |

|       | 第13週 | 第14週 | 第15週 | 第16週 | 第17週 | 第18週 | 第19週 | 第20週 | 第21週 | 第22週 | 第23週 | 第24週 |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 平成17年 | 17.4 | 21.0 | 8.2  | 10.4 | 8.6  | 3.4  | 0.8  | 2.0  | 1.0  | 0.2  | -    | -    |
| 平成18年 | 0.4  | 0.2  | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    |
| 平成19年 | 23.6 | 9.8  | 5.8  | 3.4  | 3.6  | 1.0  | 0.4  | 0.2  | -    | -    | -    | -    |
| 平成20年 | 2.6  | 0.4  | 0.4  | -    | -    | -    | 0.2  | -    | -    | -    | -    | -    |
| 平成21年 | 5.8  | 6.0  | 4.4  | 4.6  | 1.6  | 2.4  | 0.2  | 0.2  | 0.2  | 0.2  | -    | -    |

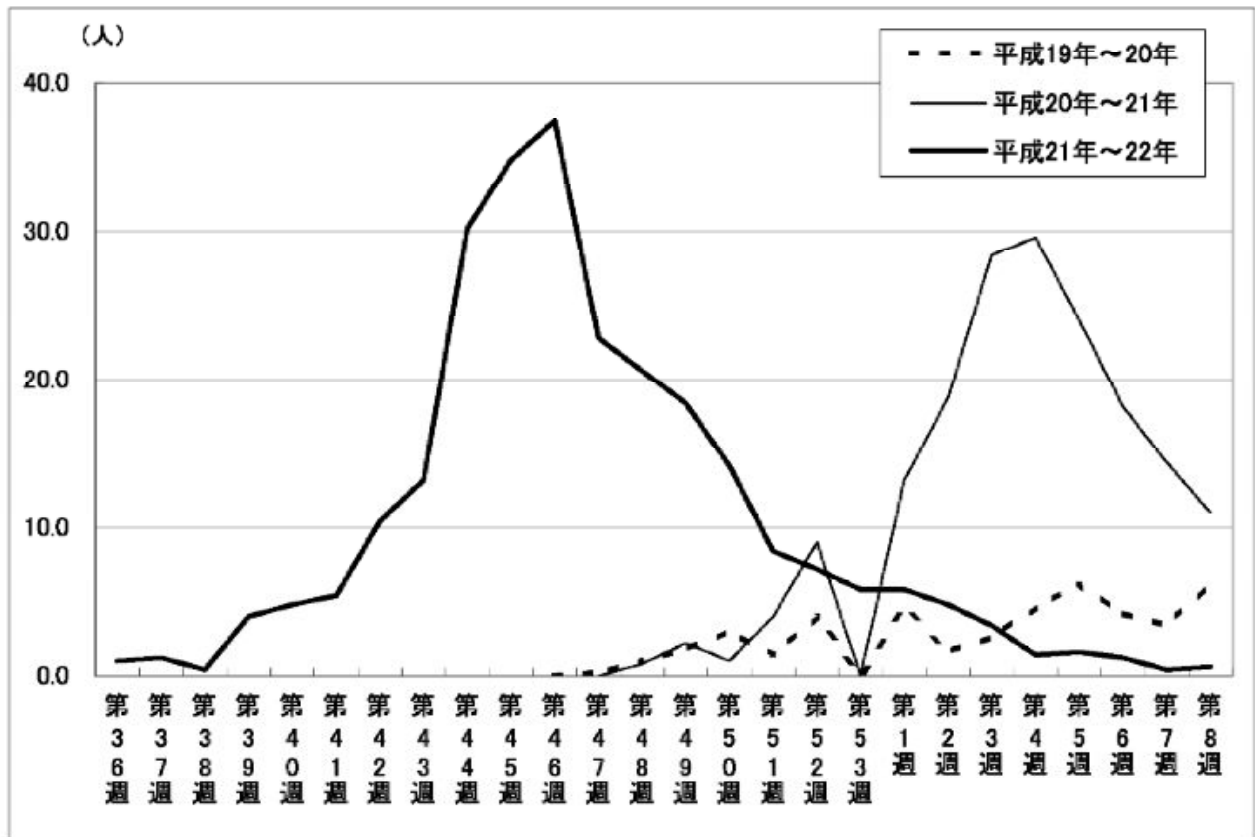
|       | 第25週 | 第26週 | 第27週 | 第28週 | 第29週 | 第30週 | 第31週 | 第32週 | 第33週 | 第34週 | 第35週 | 第36週 |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 平成17年 | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    |
| 平成18年 | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    |
| 平成19年 | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    |
| 平成20年 | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    |
| 平成21年 | -    | -    | -    | 0.2  | -    | -    | -    | -    | 1.4  | 2.2  | 1.0  | 1.0  |

|       | 第37週 | 第38週 | 第39週 | 第40週 | 第41週 | 第42週 | 第43週 | 第44週 | 第45週 | 第46週 | 第47週 | 第48週 |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 平成17年 | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    |
| 平成18年 | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    |
| 平成19年 | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | 0.2  | 1.0  |
| 平成20年 | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | -    | 0.8  |
| 平成21年 | 1.2  | 0.4  | 4.0  | 4.8  | 5.4  | 10.4 | 13.2 | 30.2 | 34.8 | 37.4 | 22.8 | 20.6 |

|       | 第49週 | 第50週 | 第51週 | 第52週 | 第53週 |
|-------|------|------|------|------|------|
| 平成17年 | -    | 0.2  | -    | 1.8  | -    |
| 平成18年 | -    | -    | -    | -    | -    |
| 平成19年 | 1.8  | 3.0  | 1.4  | 4.0  | -    |
| 平成20年 | 2.2  | 1.0  | 4.0  | 9.0  | -    |
| 平成21年 | 18.4 | 14.2 | 8.4  | 7.2  | 5.8  |



インフルエンザサーベイランス定点医療機関あたりの患者数(9月～2月末)  
中丹西保健所管内(3年間)

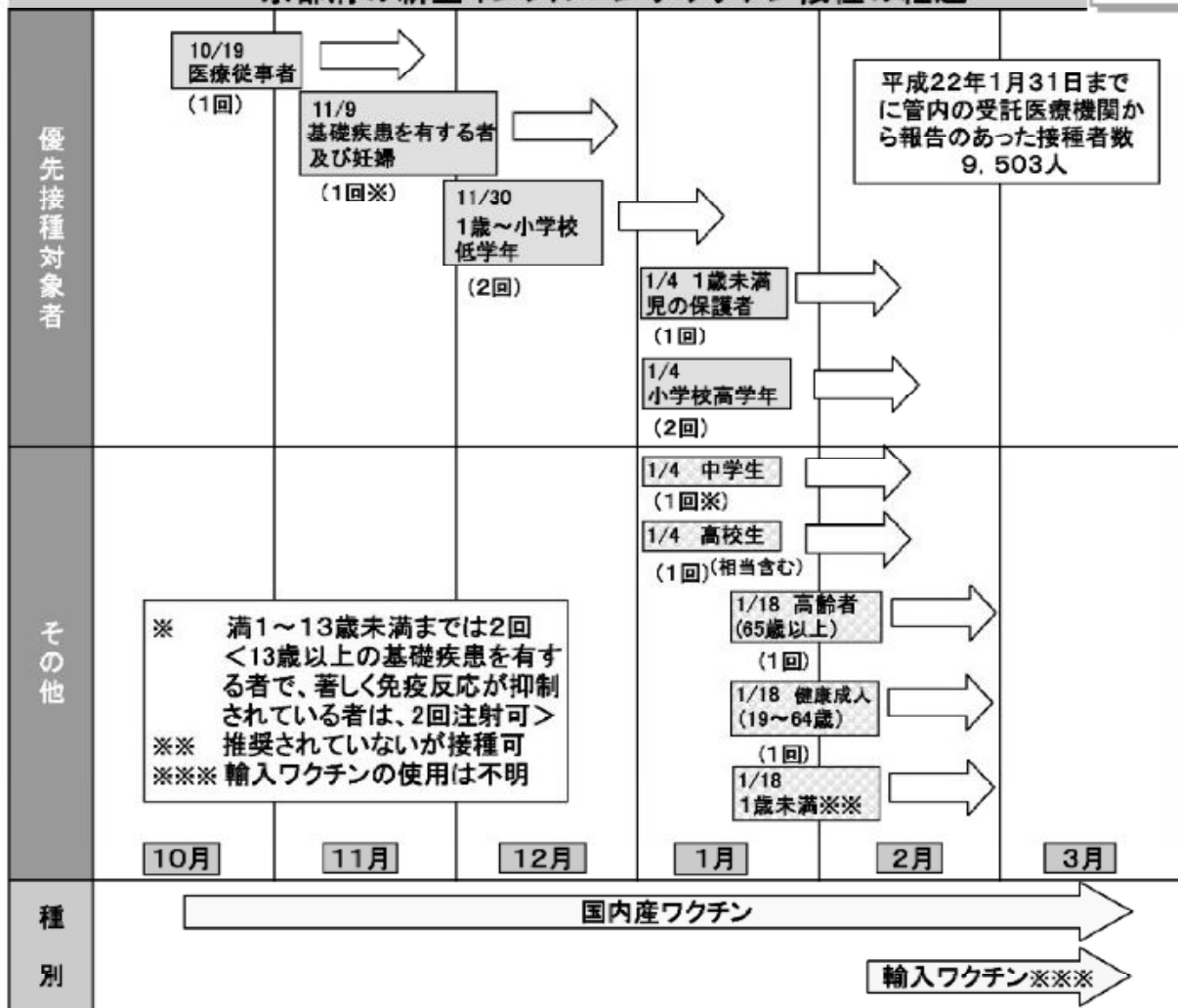


インフルエンザサーベイランスの定点患者数の秋から冬にかけての状況を見ると、今回(平成21年～22年)の新型インフルエンザが例年発生の少ない時期での流行であった。  
季節性の昨年(平成20年～21年)は年末から流行が始まり、一昨年(平成19年～20年)は大きな流行がなかった

5 新型インフルエンザワクチン



京都府の新型インフルエンザワクチン接種の経過



新型インフルエンザワクチンについては、ワクチン供給量が不足したため、投与の順番を国が定めたが、医療従事者から供給量の不足についての意見が多く寄せられた。また、任意接種としたため、市町が行う定期接種のような位置づけにならず、集団接種の取り組みにできた市町は限られた。ワクチンが十分に供給される1月以降は、すでに小中学生の4割以上が罹患しており、今後は、ワクチンの迅速な製造と接種体制の必要性が明らかになった。

■ 輸入ワクチンと国産ワクチンの違い (厚生労働省資料より)

| 製造業者  | グラクソ・(英国) スミスクライン | ノバルティス(スイス)           | 国産4社      |
|-------|-------------------|-----------------------|-----------|
| 免疫補助剤 | あり                | あり                    | なし        |
| 培養方法  | 鶏卵培養              | 細胞培養                  | 鶏卵培養      |
| 性状(色) | 調整後は乳濁            | 乳濁                    | 透明～わずかに白濁 |
| 接種方法  | 筋肉注射              | 筋肉注射                  | 皮下注射      |
| 接種回数  | 1回                | 18～49歳 1回<br>50歳以上 2回 | 13歳以上 1回  |

■ 国産ワクチンの接種量

| 年齢区分    | 接種量(1回) |
|---------|---------|
| 1歳未満    | 0.1ml   |
| 1～6歳未満  | 0.2ml   |
| 6～13歳未満 | 0.3ml   |
| 13歳以上   | 0.5ml   |

※13歳未満は2回接種

■ ワクチン接種費用(全国一律)

|     |                    |
|-----|--------------------|
| 1回目 | 3,600円             |
| 2回目 | ※2,550円 (2回接種の方のみ) |
| 計   | 6,150円             |

※同一医療機関で2回目も受けた場合の金額  
 ※生活保護・市町村民税非課税世帯の方は、全額公費負担となる制度あり